

利根運河で

外来植物アレチウリの 駆除イベントを行いました。



【月日】2013年7月19日（金）
【場所】利根運河河川敷 市立柏高校前（千葉県柏市）
【主催】利根運河協議会
【参加】計54名

アレチウリ駆除の経緯

利根運河は、さまざまな生き物の生息・生育場所となっています。しかし近年、アレチウリ（特定外来生物※）などの外来植物が増えており、これらが蔓延すると、利根運河の豊かな自然をおびやかす恐れがあります。そのため、利根運河協議会では、平成22年からアレチウリの駆除イベントを行っています。場所は、利根運河で最もアレチウリの繁茂がみられた柏市の市立柏高校前の河川敷としました。

※特定外来生物とは、生態系等に悪影響があるとして、法律（外来生物法）で飼育や栽培、運搬などが禁止されている外来種です。

■アレチウリの特徴・他の植物への影響

【特徴】アレチウリは、北アメリカ原産のウリ科の一年生草本です。茎はつる状で長く伸び、10mを越えることもあります。茎や葉には細かい毛のようなトゲがあり、果実にも特に鋭いトゲがあります。

【他の植物への影響】つるを伸ばして他の植物を覆うように繁茂するため、他の植物に届く光を遮って成長を妨げるなど、在来植物に悪影響を及ぼすことがあります。



▲アレチウリ駆除を実施した河川敷



▲アレチウリ

■多くの参加者が集まりました

今回の取り組みは、主催である利根運河協議会の関係者（NPOさとやま、かしわ環境ステーション、利根運河の生態系を守る会、野田自然保護連合会、東葛自然と文化研究所等）に加え、東京理科大学の学生や、一般公募で集まった方々など、50人以上に参加していただき、みんなで駆除作業に汗を流しました。

利根運河協議会は、利根運河において、地域の人々に親しまれ、周辺の自然環境や歴史文化と調和した、より美しい環境を形成することを目指して、野田市・柏市・流山市・千葉県・国土交通省の行政関係者、有識者、民間団体の代



▲集まった参加者のみなさん

表によって平成19年に設立されました。利根運河協議会では、利根運河の生態系の保全に関する取り組みなどを進めており、アレチウリ駆除会は今年で3回目の開催になります。

■アレチウリの駆除（抜き取り）

アレチウリの駆除は、手作業による抜き取りで行いました。地道で大変な作業でしたが、約1時間半の作業で、山のような量のアレチウリが抜き取られ、アレチウリはほとんどみられなくなりました。



▲駆除についてのレクチャー



▲駆除作業のようす



▲抜き取ったアレチウリ

■駆除前後の景観

下の写真はアレチウリ駆除の前と後の景観写真です。アレチウリは河川敷の草地に覆い被さって繁茂していましたが（写真のピンク点線の範囲）、駆除後にはほとんどみられなくなりました。



ヨシに覆いかぶさる
アレチウリ

駆除前



駆除後は、みられなくなりました

駆除後

本年度は、秋ごろにも国土交通省によるアレチウリ駆除が予定されています。このような対策の継続により、利根運河の環境を、より自然豊かなものにしていくことを目指します。